

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

No.1

宮崎南部森林管理署

記番	森事務所	調査場所		林齢	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	予定面積(ha)	予定材積(m ³)	極印	測量	距離(km)	区域表示	距離(km)	表示方法	林地傾斜	下層植生	歩行時間(分)	通動距離(km)	成長量プロット	復命書作成見込み数	3Dレーザ 標本ライン設定	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考 (複数樹種の場合は樹種名を入力)
		国有林	林小班																								
1	酒谷	小布瀬	16 ろ	64	皆伐	100	樹高曲線	1.43	1,001	有	コンパス	0.6	有	0.6	ベンキ	急	中	3	9.5		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
2	酒谷	小布瀬	16 ろ1	64	皆伐	100	樹高曲線	1.12	784	有	コンパス	0.4	有	0.4	ベンキ	中	中	2	9.5		2		分収造林	30		酒谷	スギ、ヒノキ、マツ、広Ⅱ
3	酒谷	小布瀬	16 は	65	皆伐	100	樹高曲線	1.11	777	有	コンパス	0.9	有	0.9	ベンキ	緩	中	8	10.6		2		分収造林	30		酒谷	スギ、ヒノキ、マツ、広Ⅱ
4	酒谷	小布瀬	17 ろ	54	皆伐	100	樹高曲線	1.53	1,071	有	コンパス	0.6	有	0.6	ベンキ	中	中	8	10.6		2		分収造林	20		酒谷	スギ、広Ⅱ
5	酒谷	小布瀬	17 は	53	皆伐	100	精密毎木	0.34	238	有	コンパス	0.1	有	0.1	ベンキ	中	中	7	10.6		2		分収造林	20		酒谷	スギ、広Ⅱ
6	酒谷	小松	54 ひ2	58	皆伐	100	樹高曲線	1.97	1,379	有	コンパス	0.8	有	0.8	ベンキ	中	中	11	11.2		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
7	酒谷	小松	54 ひ6	71	皆伐	100	精密毎木	0.86	602	有	コンパス	0.5	有	0.5	ベンキ	急	中	18	11.1		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
8	酒谷	小松	54 ひ7	71	皆伐	100	精密毎木	0.40	280	有	コンパス	0.2	有	0.2	ベンキ	中	中	4	11.2		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
9	酒谷	小松	54 ひ9	71	皆伐	100	精密毎木	0.13	91	有	コンパス	0.2	有	0.2	ベンキ	中	中	2	11.2		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
10	酒谷	小松	54 ひ10	46	皆伐	100	樹高曲線	1.02	714	有	コンパス	0.5	有	0.5	ベンキ	中	中	3	11.1		2		分収造林	20		酒谷	スギ、広Ⅱ
11	酒谷	小松	54 め	76	皆伐	100	樹高曲線	6.48	4,536	有	コンパス	1.2	有	1.2	ベンキ	急	中	7	10.9		2		分収造林	30		酒谷	スギ、広Ⅱ
12	黒荷田	黒荷田	111 は	40	皆伐	100	樹高曲線	1.19	1,012	有	コンパス	0.4	有	0.4	ベンキ	中	中	8	2.2		2		分収造林	20		黒荷田	スギ、広Ⅱ
13	黒荷田	黒荷田	111 は1	41	皆伐	100	標準地	4.75 (0.25)	4,038 (213)	有	コンパス	1.1 0.3	有	1.1 0.3	ベンキ	中	中	5	2.2		2		分収造林	20		黒荷田	スギ、広Ⅱ
14	黒荷田	黒荷田	112 ち	48	皆伐	100	標準地	7.55 (0.40)	5,663 (300)	有	コンパス	2.0 0.5	有	2.0 0.5	ベンキ	中	中	11	2.2		2		分収造林	30		黒荷田	スギ、広Ⅱ
15	黒荷田	黒荷田	112 わ	62	皆伐	100	標準地	3.11 (0.20)	2,333 (150)	有	コンパス	0.8 0.3	有	0.8 0.3	ベンキ	中	中	11	2.2		2		分収造林	20		黒荷田	スギ、広Ⅱ
	合計																									No.2へ	

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通動距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

記番	森事務所	調査場所		林齢	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	予定面積(ha)	予定材積(m³)	極印	測量	距離(km)	区域表示	距離(km)	表示方法	林地傾斜	下層植生	歩行時間(分)	通勤距離(km)	成長量プロット	復命書作成見込み数	品質区分条件(3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考
		国有林	林小班																								
16	田代	宿野	121 あ	47	皆伐	100	樹高曲線	4.69	3,982	有	コンパス	1.2	有	1.2	ベンキ	中	中	20	6.6		2		分収造林	30		田代	スギ、広Ⅱ
17	田代	宿野	121 し	53	皆伐	100	樹高曲線	1.21	1,088	有	コンパス	0.5	有	0.5	ベンキ	急	中	13	6.6		2		分収造林	20		田代	スギ、広Ⅱ
18	田代	宿野	121 し1	93	皆伐	100	精密毎木	0.30	250	有	コンパス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	疎	11	6.6		2		分収造林	30		田代	スギ、クス、広Ⅱ
19	田代	宿野	121 ひ	52	皆伐	100	樹高曲線	2.93	2,775	有	コンパス	0.4	有	0.4	ベンキ	急	中	18	6.6		2		分収造林	30		田代	スギ、広Ⅱ
20	田代	宿野	121 ひ1	52	皆伐	100	精密毎木	0.42	365	有	コンパス	0.9	有	0.9	ベンキ	急	中	15	6.6		2		分収造林	30		田代	スギ、広Ⅱ
21	田代	宿野	121 も2	93	皆伐	100	精密毎木	0.55	431	有	コンパス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	疎	16	6.6		2		分収造林	30		田代	スギ、クス、広Ⅱ
22	板谷	板谷	81 に	59	皆伐	100	樹高曲線	5.00	4,620	有	コンパス	1.2	有	1.2	ベンキ	急	中	17	20.3		2		分収造林	30		板谷	スギ、広Ⅱ
23	大東	一氏	2015 つ	55	皆伐	100	樹高曲線	3.55	2,347	有	コンパス	1.0	有	1.0	ベンキ	中	中	7	7.5		2		分収造林	30		大東	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
24	大東	一氏	2015 う	59	皆伐	100	樹高曲線	4.67	3,092	有	コンパス	1.2	有	1.2	ベンキ	中	中	11	7.5		2		分収造林	30		大東	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
25	大東	一氏	2015 の	87	皆伐	100	精密毎木	0.29	113	有	コンパス	0.2	有	0.2	ベンキ	中	中	8	7.5		2		分収造林	30		大東	スギ、広Ⅱ
26	大東	大平	2031 ま	48	皆伐	100	樹高曲線	1.64	769	有	コンパス	0.8	有	0.8	ベンキ	中	中	2	9.5		2		分収造林	30		大東	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
27	大東	大平	2031 え	47	皆伐	100	精密毎木	0.92	379	有	コンパス	0.5	有	0.5	ベンキ	急	中	8	9.5		2		分収造林	30		大東	スギ、広Ⅱ
28	串間	鈴連石	2055 い	58	皆伐	100	樹高曲線	1.20	792	有	コンパス	0.6	有	0.6	ベンキ	緩	中	2	4.3		2		分収造林	30		串間	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
29	串間	鈴連石	2055 ろ	58	皆伐	100	樹高曲線	1.99	1,311	有	コンパス	1.4	有	1.4	ベンキ	緩	中	2	4.3		2		分収造林	30		串間	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
30	串間	鈴連石	2055 は	59	皆伐	100	樹高曲線	3.16	2,073	有	コンパス	2.1	有	2.1	ベンキ	緩	中	2	4.3		2		分収造林	30		串間	スギ、ヒノキ、広Ⅱ
	合計																							No.3へ			

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

収穫調査委託箇所の概要

1 号物件 (立木販売)

宮崎南部森林管理署

記番	森 林 事務所	調査場所		林齢	伐採方法	伐採率 (%)	調査方法	予定面積 (ha)	予定材積 (m ³)	極印	測量	距離 (km)	区域 表示	距離 (km)	表示方法	林地 傾斜	下層 植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量 プロット	復命書 作成見 込み数	品質区分 条件 (3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考
		国有林	林小班																								
31	串間	黒仁田	2068 に	50	皆伐	100	樹高曲線	3.00	1,374	有	コン パス	0.8	有	0.8	ベンキ	中	中	2	1.0		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ
32	串間	黒仁田	2068 は	59	皆伐	100	精密毎木	0.37	242	有	コン パス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	中	4	1.0		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ
33	串間	滝山	2078 う	52	皆伐	100	標準地	1.91 (0.15)	1,127 (89)	有	コン パス	0.5 0.2	有	0.5 0.2	ベンキ	緩	中	2	11.6		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒノキ、広Ⅱ
34	串間	滝山	2078 の	74	皆伐	100	標準地	4.06 (0.25)	1,726 (106)	有	コン パス	1.0 0.3	有	1.0 0.3	ベンキ	中	中	2	11.6		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ
35	串間	滝山	2078 ら	74	皆伐	100	標準地	3.80 (0.20)	1,653 (87)	有	コン パス	0.7 0.3	有	0.7 0.3	ベンキ	中	中	4	11.6		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ
36																											
37																											
38																											
39																											
40																											
41																											
42																											
43																											
44																											
45																											
	合計							78.65 [54.92]	55,028 [39,433]			26.2 1.9		26.2 1.9													区域面積78.65ha

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。